

第361回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和2年11月30日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、第361回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにおかれましては、公私ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、平素から市政の運営につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

今月の中旬は、県内でも気温25度を超える夏日を観測するなど暖かい日が続いておりましたが、最近は朝晩がぐっと冷え込む季節となってまいりました。

例年より1週間ほど遅いペースではありますが、ふるさと三木の山並みも色づく絶好の紅葉の季節が訪れています。

久留美の慈眼寺では、21日、地元有志の皆さまにより夜間ライトアップのイベントがなされ、境内や参道に真っ赤に色づくモミジが幻想的に浮かび上がり、多くの方々が秋の風物詩を楽しまれました。

一方では、これから本格的に空気が乾燥してくる冬の到来を前に、新型コロナウイルス感染症について、県内においても、とりわけ阪神地域を中心に連日100人を超える新規感染者の発症が続き、予断を許さない状況が続いております。

兵庫県では、陽性となった患者には、症状の有無に関わらず、入院又は宿泊療養の隔離措置がとられており、また、濃厚接触者へのPCR検査の実施により感染の連鎖を断つ対処法が継続されています。また、医療体制の逼迫を避けるため、更なる入院病床や宿泊療養施設の確保、重症患者を受け入れる臨時重症専用病棟の整備など体制強化に向けた取組が行われております。

市民の皆さまにおかれましては、今一度、感染防止のための3つの基本、いわゆる「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「身体的距離の確保」を実践いただき、一人ひとりが「うつらない・うつさない」という強い意志で取り組んでいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

さて、一昨日28日の自由が丘地区を最後に、通算3年目となる市政懇談会を市内全地区で開催することができました。本年度はコロナ禍ということもあり、書面のやり取りでの開催

も可能としていたわけですが、すべての地区が対面での開催をご希望されました。各地区の公民館で十分な感染予防対策を講じていただいたうえ、地域からいただいたご意見、ご提言について、膝を交えた意見交換を行うことができました。

例年より開催時間を短縮したことにより、重要な案件に絞った意見交換となりましたが、3年目となった本年は、これまで以上に、地域の皆さまとより深い議論を交わせたように思っております。

これまでから申し上げますとおり、「チーム三木」での市政運営の心がけとして「地域の理解がなければ、市政の発展はあり得ない」という思いを一層強くいたし、これからも気持ちを引き締め、公務にあたってまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

このたびの市議会定例会は、専決処分の報告1件、条例関係7件、補正予算関係6件、その他7件、併せて21件の提案を予定いたしております。

とりわけ一般会計補正予算案では、市独自の事業として、国の特別定額給付金の支給基準日以降、令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた新生児に対して、新生児特

別定額給付金として10万円を支給いたします。この財源につきましては、先の9月議会において議員提案をいただいた議員の12月の期末手当の30%削減分の財源を一部充当させていただいております。

その他、後の提案説明でも申し上げますが、新型コロナウイルスワクチンの供給が可能となった場合に、市民の皆さまに速やかに接種していただけるよう、必要となる予防接種台帳のシステム改修経費など、本市のコロナ対策に係る重要な補正予算を含んだものとなります。

どうか慎重なるご審議をいただき、ご決定を賜りますようお願い申し上げます。開会のあいさつといたします。